

沖縄県中小企業経営革新事業認定
 沖縄県産業廃棄物処分業許可取得

重金属不溶化処理

アルファクリーン工法



コマツ BZ210-3
 (自社所有)

土壤汚染対策法に指定される第二種特定有害物質（重金属類）で汚染された土壌、建設発生土、ばいじん、燃え殻、汚泥、鉍さいに薬剤を散布・混合することにより、土壌溶出量基準以下にする工法です。大型案件に対応するためオンサイトでの施工も可能。



競合品に比して低コスト



それぞれの現場に最適化するよう検討試験を通して仕様変更が可能

アルファクリーン工法を
 おすすめする
4つの主な特徴



重金属等の元素を問わず不溶化処理が可能



自然条件下では不可逆的に吸着・不溶化効果が発現

基本処理フロー



アルファクリーンの実施施工例（土壌汚染対策）

アルファクリーンは、土壌中に含まれる重金属を、資材主成分であるカルシウムとアルミニウムにより二次鉱物化過程で、その構造中に取り込み、強固に結合するため、有害物の吸着不溶化機能も有しています。

沖縄県全域において、移動式の産業廃棄物許可を受けており、中間処理の範囲として(造粒固化、不溶化)燃え殻、汚泥、廃油、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、ばいじん(これらのうち水銀含有ばいじん等(水銀回収義務対象物を除く)を含み、特別産業廃棄物を除く)を廃棄物発生現場にて処理できます。



アルファクリーンの原理・改質効果

アルファクリーンは、ポラス(空隙)な構造を持つため、高い吸水性能があり、水和反応により粒子間の結合を強固にします。

アルファクリーン設備仕様[コマツ BZ-210-3] ※自社所有



作業量設定範囲	40 ~ 150 m ³ / h
原料土ホッパ容量	1.4 m ³
最大異物塊寸法	200 mm
固化材ホッパ容量	3.0 m ³
固化材供給量	0.9 ~ 15 m ³ /h
固化材添加量調整範囲	9 ~ 400 kg/ m ³



特定特殊自動車排出ガス 2014年基準適合車

アルファクリーンの特徴・安全性・環境浄化機能ならびに溶出試験結果

- ◎ アルファクリーンは、**重金属イオン等が共存する場合でも同時処理が可能。**
- ◎ 土壌との混和性が高く、**施工性が向上。**
- ◎ **個々の現場に最適化**するように、検討試験を通して**仕様変更可能。**
- ◎ アルファクリーンは、**改質効果**や**消臭効果**も期待できます。
- ◎ アルファクリーンは、「**土壌の汚染に係る環境基準**について(平3環告46、平26環告44最終改正)」および「**ダイオキシン類による土壌の汚染に係る環境基準**(平11環告68、平21環告11最終改正)」を満たしています。
- ◎ アルファクリーンは、環境浄化機能を有しており、**消臭対策、分別、水質汚濁防止**等幅広い範囲での適用が可能です。



本 社 沖縄県那覇市久茂地3丁目16号
TEL 098-951-0370 / FAX 098-951-0371
西原事業本部 沖縄県中頭郡西原町小那覇512番地
TEL 098-835-8122 / FAX 098-835-8123
石川リサイクル工場 沖縄県うるま市石川山城686番地
TEL 098-982-5910 / FAX 098-982-5911



ホームページ

<https://www.oki-clean.jp/>